

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2001-355632(P2001-355632A)

【公開日】平成13年12月26日(2001.12.26)

【出願番号】特願2000-179435(P2000-179435)

【国際特許分類第7版】

F 16 C 19/52

F 16 N 29/00

【F I】

F 16 C 19/52

F 16 N 29/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月25日(2005.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明の転がり軸受の運転状態監視装置を、工作機械に組み込んだ場合に就いて示している。鋼等の金属製のハウジング1の内側に、やはり鋼等の金属製の主軸2を、1対の転がり軸受3、3により回転自在に支持している。これら各転がり軸受3、3は、その内周面に外輪軌道を有する金属製の外輪4と、その外周面に内輪軌道を有する金属製の内輪5と、これら外輪軌道と内輪軌道との間に転動自在に設けられた、それぞれが金属製又はセラミック製である複数の転動体6、6と、これら各転動体を転動自在に保持する為の、合成樹脂製の保持器7とから成る。この様な各転がり軸受3、3の潤滑状態を知る為に、上記外輪4を内嵌固定したハウジング1と、上記内輪5を外嵌固定した主軸2との間の電位差を測定自在としている。